

「水がきれい まちがきれい 緑あふれる水郷のまち柳川」を目指す

第2次柳川市環境基本計画を策定

良好な環境保全を目指す10年間の長期計画

重点プロジェクトは可燃ごみの減量

第2次柳川市環境計画は、市のまちづくりの基礎となる第2次柳川市総合計画を環境の視点から実現していくためのものです。計画の期間は令和2年度からの10年間。環境保全の長期的な目標や取り組みを設定して、市が抱える環境問題を解決することが目的です。

この計画は、市役所各庁舎や各コミュニティセンター、市公式サイトで見ることが出来ます。

将来像実現のための5つの基本目標

市が目指す将来像「水がきれい まちがきれい 緑あふれる水郷のまち柳川」を実現するため、①地球環境②資源循環③自然環境④生活環境⑤参加と協働の5つの基本目標に沿って取り組みを進めていきます。

計画の中で、可燃ごみの減量を重点プロジェクトに設定。市民アンケートの結果、ごみの分別に取り組んでいる市民の割合は高いものの、ごみの排出量や資源化率は横ばいのままだからです。ごみをなるべく出さないようにして、可能な限り資源を再利用し、環境への負荷が少ない循環型のまちづくりを目指します。

●重点目標のテーマ

可燃ごみの発生を抑制するライフスタイルの確立

●具体的な取り組み

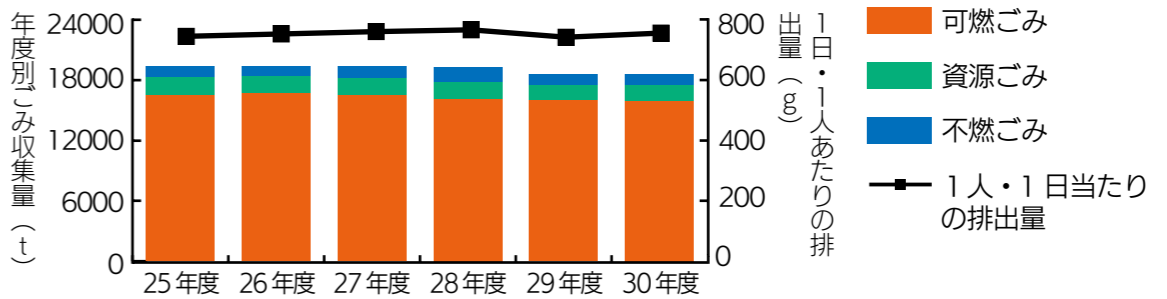
▽分別の徹底＝資源物専用袋の値下げなど

▽生ごみの減量＝家庭や事業所に生ごみ処理機の購入を補助

▽周知・啓発活動＝アプリを使った情報発信など

【問】生活環境課環境係（☎77・8485）

■ごみの排出量の推移



■5つの基本目標の概要

①地球環境

環境に配慮した持続可能なまちづくり

市全体から発生する温室効果ガスは減少しています。しかし、さらなる温暖化対策や異常気象などの気候変動の影響への対応を進めます。

②資源循環

環境負荷の少ない循環型のまちづくり

市のごみは8割以上が可燃ごみです。ごみの分別やリサイクルが重要な課題で、減量化のためにリユース・リデュース・リサイクルの3Rの取り組みなどを推進します。

③自然環境

豊かな自然と共生したまちづくり

農地と掘割や有明海などの水環境は、多様

な生物の生息や生育の場になっています。掘割を生かした環境保全や生物多様性への理解や関心を深める取り組みを進めます。

④生活環境

安全・安心にいきいきと暮らせるまちづくり

生活雑排水の処理改善やごみのポイ捨ての啓発、水質調査の結果に応じて適切な対策をします。増加傾向にある空家・空地問題は、柳川市空家等対策計画などに沿って管理を推進します。

⑤参加と協働

住民参加の環境に配慮したまちづくり

平成30年から、小学生を対象に掘割生物学習を始めました。大人から子どもまで地域の環境に関する意識の向上を目指します。

ごみ減量大作戦



今年度はごみの量を前年比90%を目標に

シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」②

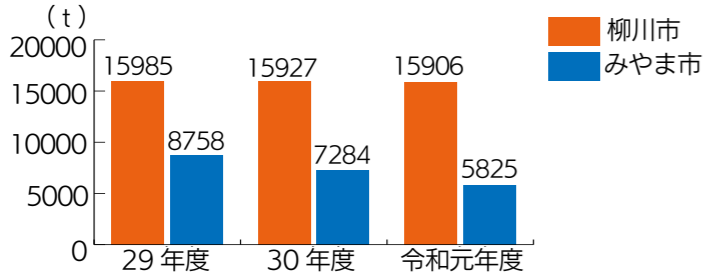
新しく建設しているごみ焼却場の建設費負担割合に直結する可燃ごみの減量化は、市の大きな課題です。今年度は、前年度より10%減量できるように取り組みを進めていきます。今回は、前年度のごみの量をお知らせします。

【問】市廃棄物対策課（☎72・13334）

柳川市は前年比横ばい みやま市は8割に減少

市の可燃ごみは、平成29年度が1万5985トン、平成30年度が1万5927トン、そして令和元年度が1万5906トンで、令和元年度は前年比99.9%とほぼ横ばいでした。一方、みやま市は前年比80%で1458トンも減少。このままでは新ごみ焼却場の建設費の負担額が柳川に重くのしかかることになります。

■3年間の柳川市とみやま市のごみの量の推移



を減らすことで達成できる目標です。資源ごみ分別の徹底、生ごみの軽量化に協力をお願いします。

3切り運動で生ごみを減量

家庭から出る可燃ごみの中で1番重い生ごみ。その主な成分は水です。生ごみ減量のため、食料品の「使い切り・食べきり・水切り」の3切り運動でごみ減量に取り組みましょう。

●使い切り

食材は、必要な分だけ買って上手に保存し、無駄なく使い切りましょう。必要なものだけを買う、それでも余った食材は、冷蔵・冷凍保存し、使い切りを心がけてください。

●食べ切り

家族が食べる量を把握し、作り過ぎないように

しましょう。食べ切れなかったときは、冷蔵・冷凍保存し、アレンジするなどして早めに食べ切りましょう。

●水切り

水切りはごみの減量や、腐敗・悪臭対策にもなります。三角コーナーや水きりネットを活用し、可燃ごみ袋に入れる前に絞りましょう。

生ごみを捨てるときは最後にぎゅ〜っと一絞り！



電動生ごみ処理機で生ごみの重さを約8割減らすことが可能に

■生ごみの軽量化に効果的な電動生ごみ処理機

生ごみの水分を乾燥させる電動生ごみ処理機は、生ごみの重さを約8割減らすことができます。市は、昨年から購入の補助率を上げ、購入額の3分の2、上限5万円を補助しています。

●対象 市内の店舗で購入する生ごみ処理機

●申込方法 市生活環境課浄化槽推進係にある申込用紙に必要事項を記入して直接申し込んでください。※申し込みは、購入前に見積書を取って事前に申請してください。

【問】同係（☎77・8483）

■電動生ごみ処理機を1カ月無料で貸し出し

市クリーン連合会は、電動生ごみ処理機を1カ月無料で貸し出しています。1度試しに使用してみたい人は、ぜひ利用してみてください。

●申込方法 市生活環境課環境係にある申込用紙に必要事項を記入して直接申し込んでください。

【問】同係（☎77・8485）

